

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然～身近な生き物～

<テーマの設定理由>

<園の特色> 和の保育方針 自然 心 礼節 伝統

自然 自然と触れ合い強く生きる力をつける

生命 生命の不思議さと尊さを知る

恵 他の生命により生かされていることを知る

- ・散歩など戸外あそびを行い、枯れ葉や土の中で見つけた小さな生き物への興味関心、命と触れ合う。
- ・だんごむし・あり
- ・身近に感じ興味関心が広がるよう観察コーナーや図鑑などを設置。
- ・飼育体験

2. 活動スケジュール

2025 年 5 月～7 月

5 月 戸外遊びの公園での発見

6 月 室内に持ち帰り飼育ケースへ。

7 月 飼育ケースを新調。観察の幅を広げ観察キット（虫眼鏡・図鑑など）導入。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、教諭との関わり等)

- ・意図的な室内環境設定
- ・枯れ葉、土、霧吹き、生き物図鑑
- ・子ども達の活動や観察を視覚的に楽しめるよう掲示物やアルバムを作成



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達の身近な環境（公園）での出会いを活動環境（保育園室内）へ。公園でしか観察が出来なかった不思議な小さな生き物（だんごむし）。室内に小さな観察箱を設置したことで子ども達の興味、関心の広がりを感じる。枯れ葉の隙間をモゾモゾと動く姿を集中し、小さな動きの変化を見逃さず「あっあれ」「葉っぱ食べてる？」「土かな？」と自身の気付きを他者へ伝えたり。子ども達の視線の先にある不思議を身近な環境に置くことで子ども達の成長発達に繋がった。興味関心を上げられるのか空間、環境設定の大切さを感じた。ワクワクした子ども達の姿（興味、関心）を保育者がワクワクしながら更なる仕掛け作りを楽しみ方を学んだ。